

西中だより

平成27年度 No.2
平成27年 4月 28日
須賀川市立西袋中学校
発行責任者 鶴巻 弘士

学級の役員（委員長・副委員長）決まる！

- 13日（月）の第1回全校集会における前期役員（委員長・副委員長）の任命式において、下記の生徒がそれぞれ委員長・副委員長に任命されました。委員長・副委員長は学級・学年のために力を発揮してほしいと思います。
<敬称は略します> 【任命式の様子】

	組	3学年	2学年	1学年
委員長	1組	水野ゆめか	佐藤 心太	磯谷 壮樹
	2組	高橋 光	橋本 尚幸	佐久間 桃
	3組	名子 弥希	宗像 一樹	小林 昌典
	4組			紺野 未来
副委員長	1組	有松 宏真	石塚 光	須釜 心
	2組	熊田 知佳	樽川みずき	小林 将道
	3組	星 舞由璃	市川ももか	有賀美沙希
	4組			樽川 菜摘



修学旅行で学んだこと（理崎先生：「これで柱が1本立ちました。」）

- 15日（水）から17日（金）まで、二泊三日の日程で「鎌倉－横浜－東京」方面へ修学旅行を行いました。鎌倉駅から鶴岡八幡宮まで全員で歩き、学級毎に記念写真を撮りました。その後は、班別自主研修に入りました。小町通りへ進む班、江ノ島電鉄に乗り長谷寺や大仏を見学する班、切通しを歩いて鎌倉五山第一の建長寺（禅寺）や円覚寺（禅寺）へ行く班などに分けられました。夕方には、横浜の山下公園にある氷川丸前に全員集合し、学級毎に記念写真を撮り、中華街へと向かいました。
- 二日目は、朝食後に横浜のホテルから東京都内へ班別自主研修を開始し、午後には全員国会議事堂前の公園に集合しました。自分の足でその土地を歩き、見たり聞いたり、空気を肌で感じたりしながら、生徒達は自分達で立てた計画に従い、目的地を目指して活動し、豊かな体験学習を数多く重ねました。
- 三日目、ディズニーシーで研修し、夕方無事に学校に到着しました。帰校の集いで学年主任の理崎先生が「これで3年生として、柱が1本立ちました。これから支部陸上大会や総合体育大会が控えています。次の柱もしっかり立てましょう。」という話があり、生徒の表情が一瞬引き締まりました。

協会杯対抗ソフトテニス大会を参観して

- 19日（日）に牡丹台テニスコートで開催されたテニス協会主催の試合に足を運びました。運よくいくつかの試合を観ることができました。3年生は修学旅行の疲れが残っていたのか、動きが重く感じられました。しかし、他の学校も同じ時期に修学旅行に行っていたのですから、条件は同じかもしれません。疲れが溜まった状態で勝敗を分けるのは、「強い気持ち」と「普段の練習」と「場面や局面での集中力」です。特に、3年生は本番の総合体育大会が一ヶ月半後に迫っていますから、焦る気持ちを抑えながら、計画的に自分を高める練習を行ってほしいと思います。
- 控えテントに顔を出してみましたら、3名の生徒が持ち物の管理をしながら先輩達の試合を観戦していました。1・2年生の中には、補欠で試合に出場できないこともあります。是非、自分で課題を意識しながら先輩達の試合を観戦し、そこからいろいろなことを学んでほしいと思います。「自分ならこうする」というイメージが持てれば、練習で磨きをかけ、実際の試合で生きて働くからです。

《 校長のつぶやき 》・・・H27, 4, 22 福島民報社”あぶくま抄”より・・・

- 「4月22日は、よ（4）い夫婦（22）の日だ。国連が平成6年に制定した『国際家族年』をきっかけに、出版社が提唱した。」・「夫婦の日は語呂あわせで2月2日（夫婦の日）、11月22日（いい夫婦の日）、11月23日（いい夫妻の日）もある。」・「民間のアンケートによれば、円満の秘訣は「会話」「感謝」「尊重・信頼」だそうだ。年代が上がると「我慢・辛抱」が絡んでくる。苦勞も楽しみも二人で分かち合うからこそ、絆はより強くなる。」
- 上記の下線部分は、学校における教師と生徒との関係に似ていると思う。例えば、「会話」は生活や学習においては言葉を介して、教師は生徒へ教える内容を伝えていく。生徒はそれについて、なるほど・どうしてなどと感じたことを質問する。そこには、質の高い会話（対話）が生じてくる。学習や部活動の場面でも、日頃から教えてもらっていることについては「感謝の気持ち」を抱くであろうし、試合を重ねていくうちに信頼関係や尊敬の念が生徒と顧問の間に生まれて来るからである。

